

政策20 公共交通機関の整備

構成する施策

- | | |
|-------------|--------------------|
| 64 鉄軌道の整備 | 66 公共交通機関への乗り継ぎの促進 |
| 65 バス路線網の整備 | 67 自動車交通の適正化 |

目標 環境への負荷の少ない交通体系を形成し、新市街地の形成と連携のとれた広域公共交通の整備と、より安全で安心できる利便性の高い市内公共交通の整備を進めていきます。

基本方針 市街地整備と併せたモノレールや北大阪急行線延伸等の取り組みを進めるとともに、鉄道駅を拠点とした駅前広場、バス路線網の整備を進め、市民が利用しやすい公共交通ネットワークの整備をめざします。
誰もが安心して気軽に利用できるように、公共施設等を中心に市内を循環する公共交通の充実を図ります。
市民の日常生活における各種交通手段に対応した安全で利便性の高い交通体系の確立をめざします。
環境保全の観点から、低公害自動車の普及促進とともに公共交通機関利用への誘導を図ります。

考え方

政策の方向性

箕面市市民満足度アンケートにおいては、重要度は高く、満足度は最も低いため、市民ニーズ度は最も高くなっている。これは、市内公共交通全体の利便性の向上や車利用から公共交通利用への転換等が進まなかったためと考えられる。第四次箕面市総合計画の実現をはかるため、第3期実施計画期間中の最優先政策の1つとして位置づけ、今後は、資源を「維持」しつつ、交通体系マスタープランを策定し、各種公共交通機関の利便性向上に寄与する施策と公共交通利用促進施策をともに進めることにより、成果は「向上」するものとする。

成果	向上
資源	維持

社会状況の変化

・箕面森町(水と緑の健康都市)のまちびらき、箕面有料道路(箕面グリーンロード)及び大阪モノレール(彩都(国際文化公園都市)延伸部分)の供用が開始される。
・小野原西特定土地区画整理事業、都市計画道路小野原豊中線などのプロジェクトが平成20年度には整備が完了する予定である。

これまでの取り組み

・平成16年10月に近畿地方交通審議会により「近畿圏における望ましい交通のあり方」についての答申が出され、北大阪急行線は「中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として盛り込まれた。また、平成17年8月に「北大阪急行線延伸検討委員会」を設置した。
・ノンステップバス導入補助、バスICカードシステム導入補助を実施した。
・自動車・自転車駐車場利用時間延長、駐車場案内標識等の整備を行った。
・かやの中央(箕面新都心)のまちびらきに合わせて、充分な収容台数の駐車場施設を整備した。

課題

・北大阪急行線の延伸に関しては、競合路線(阪急箕面線、千里線)との調整、乗降客の確保、建設資金の確保、環境改善など多様な整備効果のPRについて、関係者との意見交換や協議調整に努める必要がある。
・東西バスのスムーズな乗り継ぎを実現することが必要である。
・休日における国道171号及びかやの中央(箕面新都心)の交通渋滞の慢性化に対する対策が必要である。
・観光シーズンにおける国道171号、かやの中央(箕面新都心)、豊中亀岡線、箕面池田線等での交通渋滞対策が必要である。

成果指標	成果指標名	基準値	目標値
	指標	→	
	鉄軌道の整備に関する満足度	8.2 %	→ 9.8 %
	根拠	市民が利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進めるにあたり、箕面市市民満足度アンケートにおける鉄軌道に対する満足度を指標とする。中部地域は鉄軌道空白地域であるため、交通利便性の改善が望まれているが、鉄道延伸に伴う整備効果は、新線整備後に発生することから、本実施計画期間中は鉄道延伸を実現できないため、第2期実施計画策定時における満足度をめざし、9.8%を目標とする。	
	バス路線網の整備に関する満足度	11.5 %	→ 14.6 %
	根拠	市民の利便性の向上をめざして、バス路線網の整備を進めるにあたり、箕面市市民満足度アンケートにおけるバス路線網に対する満足度を指標とする。バス路線網の整備に関する満足度は、毎年減少傾向にあり、ノンステップバスの導入支援など利用者の利便性の向上を図ることにより、第2期実施計画策定時における満足度まで回復することが必要ことから14.6%を目標とする。	
	公共交通利用人数(阪急電車)	37,461 人	→ 37,500 人
	根拠	公共交通機関への乗り継ぎの促進は、基幹公共交通機関である鉄道の乗降客数に反映されることから、公共交通利用人数(阪急電鉄)を指標とする。鉄道の乗降客数について年々減少傾向が続く中、箕面市交通バリアフリー基本構想に基づき、駅のバリアフリー化など利用者の利便性の向上に努めることにより、現状維持をめざし、37,500人を目標とする。	
	生活道路の円滑な交通(渋滞)に関する満足度	32.3 %	→ 33.0 %
	根拠	自動車交通の適正化を確認するため、箕面市市民満足度アンケートにおける交通(渋滞)に関する満足度を指標とする。本計画期間中に都市計画道路小野原豊中線他大きなプロジェクトの整備が完了する予定であり、市内主要幹線道路の交通渋滞が懸念されるが、現状維持をめざし、33.0%を目標とする。	